

I . 概 要

1. 沿革

明治30 (1897).	6	京都帝国大学設置
大正10 (1921).	4	芦生演習林設置 (京都府北桑田郡知井村)
12 (1923).	11	農学部設置
13 (1924).	1	農作園芸学・林学・農林化学・農林生物学・農林工学・農林経済学の6 学科設置
13 (1924).	5	附属農場・附属演習林設置
14 (1925).		農作園芸学科を農学科に改称
15 (1926).	1	和歌山演習林設置 (和歌山県有田郡八幡村)
15 (1926).	9	演習林上賀茂試験地設置 (京都市上京区上賀茂)
昭和3 (1928).	11	摂津農場設置 (大阪府三島郡磐手村大字安満)
4 (1929).	1	摂津農場古曽部園芸場設置 (大阪府三島郡磐手村大字古曽部)
6 (1931).	3	徳山砂防演習地設置 (徳山市笹葉ヶ丘)
12 (1937).	5	大島植物試験地設置 (和歌山県西牟婁郡串本町)
17 (1942).	3	演習林徳山試験地設置 (旧徳山砂防演習地)
22 (1947).	1	水産学科設置
22 (1947).	10	京都帝国大学を京都大学と改称
24 (1949).	4	北海道演習林標茶経営区設置 (北海道白糖郡白糖村)
24 (1949).	5	新制京都大学設置
25 (1950).	2	演習林白浜試験地設置 (和歌山県西牟婁郡白浜町)
25 (1950).	6	北海道演習林白糖経営区設置 (北海道白糖郡白糖村)
28 (1953).		農林化学科、農林工学科をそれぞれ農芸化学科、農業工学科に改称
28 (1953).	4	大学院農学研究科 (農学専攻、林学専攻、農芸化学専攻、農林生物学専 攻、農業工学専攻、農林経済学専攻、水産学専攻) 設置
33 (1958).	4	附属簿記研究施設設置
34 (1959).	2	農業植物試験所設置 (京都府乙訓郡向日町)
35 (1960).	7	高原畜産試験牧場設置 (京都府船井郡丹波町)
36 (1961).	11	農場機構の改正により、摂津農場を本場、古曽部園芸場を古曽部温室部 と改称
38 (1963).	4	附属農薬研究施設設置
40 (1965).	4	林産工学科設置
42 (1967).	4	食品工学科設置
42 (1967).	6	附属亜熱帯植物実験所設置 (旧大島植物試験地)
44 (1969).	4	林産工学専攻設置
46 (1971).	4	附属植物生殖質研究施設設置 (旧農業植物試験所) 食品工学専攻設置
47 (1972).	4	畜産学科設置
47 (1972).	5	附属水産実験所設置 (舞鶴市字長浜)
49 (1974).	4	附属牧場設置 (旧高原畜産試験牧場)

昭和51 (1976).	4	畜産学専攻設置
56 (1981).	4	熱帯農学専攻設置
57 (1982).	4	附属生物細胞生産制御実験センター設置
平成2 (1990).	6	農芸化学科の改組に伴い、附属生物細胞生産制御実験センター廃止
3 (1991).	4	附属農場古曽部温室部を花卉温室部に改組
7 (1995).	4	農学部10学科を生物生産科学科、生物機能科学科及び生産環境科学科の3学科に改組
		附属農業簿記研究施設廃止
		地域環境科学専攻及び生物資源経済学専攻設置（再編整備）
8 (1996).	5	附属植物生殖質研究施設廃止
		森林科学専攻及び応用生物科学専攻設置（再編整備）
9 (1997).	4	附属農薬研究施設廃止
		農学専攻及び応用生命科学専攻設置（再編整備）
10 (1998).	4	附属農場・附属演習林・附属亜熱帯植物実験所・附属牧場・附属水産実験所は大学院研究科の附属施設に再編
12 (2000).	4	農学部、農場、演習林各事務部を農学部等事務部に統合
13 (2001).	4	農学研究科・食糧科学研究所の改組（統合）
		食品生物科学専攻設置（再編整備）
		農学部3学科を資源生物科学科、応用生命科学科、地域環境工学科、食料・環境経済学科、森林科学科及び食品生物科学科の6学科に改組
15 (2003).	4	農学研究科附属施設の演習林、亜熱帯植物実験所及び水産実験所が全学共同利用として設置のフィールド科学教育研究センターへ移行
16 (2004).	4	国立大学法人京都大学設立
18 (2006).	4	寄附講座「産業微生物学講座」の設置（3年間）
18 (2006).	10	寄附講座「(味の素) 食の未来戦略講座」の設置（3年間）
19 (2007).	4	寄附講座「食と農の安全・倫理論講座」の設置（3年間）
21 (2009).	4	寄附講座「産業微生物学講座」の更新（3年間）
21 (2009).	10	寄附講座「食の未来戦略講座（味の素）」の更新（3年間）
22 (2010).	4	寄附講座「食と農の安全・倫理論講座」の更新（3年間）

2. 大学院、学部及び附属施設

大 学 院

研 究 科	専 攻 名	基 幹 講 座 名 () 書きは協力講座名
農学研究科 7 専攻 32講座 7 協力講座 昭和28年 4 月 開設 〒606-8502 京都市左京区 北白川追分町 TEL. 075-753-6490	農 学	作物科学、園芸科学、耕地生態科学、品質科学 (生産管理科学)
	森 林 科 学	森林管理学、森林生産学、緑地環境保全学、生物材料工学、生物材料機能学 (森林資源学)、(木質バイオマス科学)、(木質材料機能学)
	応 用 生 命 科 学	応用生化学、分子細胞科学、応用微生物学、生物機能化学 (生体分子機能)、(木質生命科学)
	応 用 生 物 科 学	資源植物科学、植物保護科学、動物遺伝増殖学、動物機能開発学、海洋生物資源学、海洋微生物学、海洋生物生産学
	地 域 環 境 科 学	比較農業論、生物環境科学、生産生態科学、地域環境開発工学、地域環境管理工学、生物生産工学 (放射線管理学)
	生物資源経済学	農企業経営情報学、国際農林経済学、比較農史農学論
	食 品 生 物 科 学	食品生命科学、食品健康科学、食品生産工学

学 部

学 部	学 科	学 科 目
農学部 6 学科 6 大学科目 大正12年11月開設	資 源 生 物 科 学 科	資源生物科学
	応 用 生 命 科 学 科	応用生命科学
	地 域 環 境 工 学 科	地域環境工学
	食料・環境経済学科	食料・環境経済学
	森 林 科 学 科	森林科学
	食 品 生 物 科 学 科	食品生物科学

附属施設

附 属 施 設 名	所 在 地	電話番号
附属農場（本場）	〒569-0096 高槻市八丁畷12-1	072-685-0134
古曽部地区	〒569-1115 高槻市古曽部町2-30	072-685-0221
京都農場	〒606-8502 京都市左京区北白川追分町	075-753-6403
附属牧場	〒622-0203 京都府船井郡京丹波町富田蒲生野144	0771-82-0047

3. 職員数等

(1) 職 員 数

(平成22年4月1日現在)

区 分		教授	准教授	講師	助教	計	事務職員	技術職員	計	合計
農 学 専 攻		7	6	2	9	24		2	2	26
森 林 科 学 専 攻		9	6	3	11	29				29
応用生命科学専攻		10	8		15	33		3	3	36
応用生物科学専攻		13	13		14	40		2	2	42
地域環境科学専攻		13	10	5	12	40				40
生物資源経済学専攻		7	7	0	4	18				18
食 品 生 物 科 学 専 攻		6	4		10	20		1	1	21
小 計		65	54	10	75	204		8	8	212
農 場		1	1		5	7		15	15	22
牧 場			1			1		6	6	7
小 計		1	2		5	8		21	21	29
事 務 部	事 務 部 長						1		1	1
	総 務 課						33		33	33
	経 理 課						33	4	37	37
	教育・研究協力課						11		11	11
小 計							78	4	82	82
合 計		66	56	10	80	212	78	33	111	323

(2) 役 職 員

平成22年4月1日現在

研 究 科 長 (学部長)	遠 藤 隆
副 研 究 科 長 (評 議 員)	宮 川 恒
副 研 究 科 長 (評 議 員)	縄 田 栄 治
副 研 究 科 長 (専 攻)	西 尾 嘉 之
農 学 専 攻 長	土 井 元 章
森 林 科 学 専 攻 長	木 村 恒 久
応 用 生 命 科 学 専 攻 長	加 納 健 司
応 用 生 物 科 学 専 攻 長	奥 野 哲 郎
地 域 環 境 科 学 専 攻 長	星 野 敏
生 物 資 源 経 済 学 専 攻 長	福 井 清 一
食 品 生 物 科 学 専 攻 長	井 上 國 世
(学 科)	
資 源 生 物 科 学 科 長	廣 岡 博 之
応 用 生 命 科 学 科 長	植 田 充 美
地 域 環 境 工 学 科 長	川 島 茂 人
食 料 ・ 環 境 経 済 学 科 長	末 原 達 郎
森 林 科 学 科 長	井 鷲 裕 司
食 品 生 物 科 学 科 長	伏 木 亨
(附 属 施 設)	
農 場 長	米 森 敬 三
牧 場 長	祝 前 博 明
(事 務 部)	
事 務 部 長	和 田 薫
総 務 課 長	俣 野 正
経 理 課 長	田 中 孝 二
教 育 ・ 研 究 協 力 課 長	原 田 健 二

4. 学部学生及び平成21年度入学状況

(平成22年1月1日現在)

区 分	学 部 学 生 数				入 学 員	志 願 者 数		入 学 者 数	
	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次		男	女	男	女
資 源 生 物 科 学 科	98	95	100(1)	106(1)	300	530	296	218	98
応 用 生 命 科 学 科	49	49(2)	48(1)	62(1)					
地 域 環 境 工 学 科	39	40	42(1)	50					
食 料 ・ 環 境 経 済 学 科	34	33(1)	33	43					
森 林 科 学 科	60	60	57	66					
食 品 生 物 科 学 科	36	35(2)	39	39					
計	316	312(5)	319(3)	366(6)					

※ () 内は、外国人留学生の数で外数。

5. 大学院学生及び平成21年度入学状況

(平成22年1月1日現在)

区 分	修士課程学生数		入学 定員	志願者数		入学者数		博士後期課程学生数			入学 定員	志願者数		入学者数	
	1 年次	2 年次		男	女	男	女	1 年次	2 年次	3 年次		男	女	男	女
農 学 専 攻	36	40	23	35	16	26	10	6	9	9	11	5	1	5	1
森 林 科 学 専 攻	53	56	45	43	27	29	24	11	15	25	22	7	5	6	4
応 用 生 命 科 学 専 攻	66	68	48	59	41	39	27	16	12	15	22	14	3	13	3
応 用 生 物 科 学 専 攻	50	67	50	61	23	35	15	14	15	25	23	9	4	9	4
地 域 環 境 科 学 専 攻	50	46	48	44	15	36	14	10	16	11	20	9	1	9	1
生 物 資 源 経 済 学 専 攻	18	22	24	18	11	10	8	8	10	29	11	9	0	8	0
食 品 生 物 科 学 専 攻	32	34	25	30	20	20	12	5	4	10	11	5	1	4	1
計	305	333	263	290	153	195	110	70	81	124	120	58	15	54	14

(注) 志願者数及び入学者数は、平成21年10月入学者を含む。

6. 農学部卒業生及び大学院修了者の進路（平成21年度）

区 分	農 業 ・ 林 業	漁 業	建 設 業	食料・飲料・タバコ	織 維	印 刷 等	化 学 ・ 石 油	鉄 鋼 ・ 金 属	機 械 ・ 電 気	電 力 ・ ガ ス	運 輸 ・ 通 信	卸 売 ・ 小 売	金 融 ・ 保 険	教 育 学 習 支 援	国 家 公 務 員	地 方 公 務 員	そ の 他	計	科 学 研 究 者	技 術 者	教 員	そ の 他
学部卒業生	1			6	1				5		3	2	9	2	3	5	6	43		16	1	26
修士修了者	6		3	52	5	3	34	1	9	2	17	10	8	6	9	13	34	212	44	110	3	55
博士後期課程 修了・認定退学者	1						4			1				36	1	2	12	57	43	9	4	1

7. 平成21年度研究生等

区 分	研 究 生	科 目 履 修 等 生	研 修 員 等	招 へ い 外国人学者	外 国 人 共同研究者
農 学 専 攻	3	0	2	0	2
森 林 科 学 専 攻	3		0	2	2
応用生命科学専攻	3		4	1	0
応用生物科学専攻	4		10	3	0
地域環境科学専攻	7		5	0	5
生物資源経済学専攻	6		7	0	0
食 品 生 物 科 学 専 攻	7		4	1	0
農 場			6	0	0
計	33	0	38	7	9

8. 博士学位授与数（平成21年度）

区 分	平成21年度	
	課程博士	論文博士
農 学 専 攻	7	7
森 林 科 学 専 攻	12	6
応 用 生 命 科 学 専 攻	14	1
応 用 生 物 科 学 専 攻	10	3
地 域 環 境 科 学 専 攻	7	3
生 物 資 源 経 済 学 専 攻	1	1
食 品 生 物 科 学 専 攻	6	2
計	57	23

旧 制		641
新 制	課程博士	1,835
	論文博士	2,737
合 計		5,213

9. 予算概要（平成21年度）

収 入

区 分	受入金額
授業料・入学料・検定料	1,374,685千円
受 託 研 究 等	725,785千円
寄 附 金	304,567千円
雑 収 入	97,816千円
計	2,502,853千円

支 出

区 分	支出金額
大 学 運 営 費	4,121,380千円
内 人 件 費	2,999,354千円
内 物 件 費	1,122,026千円
施設整備費補助金	408,137千円
受 託 研 究 費 等	831,239千円
寄 附 金	250,473千円
計	5,611,229千円

科学研究費補助金

研 究 種 目	件数	交付金額
特 定 領 域 研 究	3	21,800千円
学 術 創 成 研 究 費	0	0千円
基 盤 研 究（S）	0	0千円
基 盤 研 究（A）	16	122,263千円
基 盤 研 究（B）	53	208,672千円
基 盤 研 究（C）	22	27,000千円
挑 戦 的 萌 芽 研 究	12	19,500千円
若 手 研 究（A）	2	10,500千円
若 手 研 究（B）	19	30,400千円
若手研究（スタートアップ）	5	5,560千円
奨 励 研 究	2	810千円
特 別 研 究 員 奨 励 費	59	43,802千円
研 究 成 果 公 開 促 進 費	1	6,400千円
合 計	194	497,107 千円

10. 土地及び建物

(平成22年1月1日現在)

区 分		土 地	建 物	
			建 面 積	延 面 積
農学研究科・農学部		4.8ha	15,209㎡	53,804㎡
附属農場	本 場	15.4	3,141	3,277
	〃 (古曽部地区)	0.8	1,112	1,112
	京 都 農 場	2.6	135	224
附 属 牧 場		15.6	4,671	5,138
(附 属 水 産 実 験 所)		4.5	763	763

職員宿舎を除く。

11. 図書蔵書数

(平成22年 3 月31日現在)

区 分	図書（冊）	雑誌（種）
農 学 専 攻	152,722	1,950
森 林 科 学 専 攻		
応 用 生 命 科 学 専 攻		
応 用 生 物 科 学 専 攻		
地 域 環 境 科 学 専 攻		
生 物 資 源 経 済 学 専 攻		
食 品 生 物 科 学 専 攻		
図 書 室	115,932	2,636
附 属 農 場	253	15
附 属 牧 場	61	16
留 学 生 室	410	22
合 計	269,378	4,639

12. 関係資料

1) 転学部・転学科の状況

年度	転学部（転出）		転学部（転入）		転学科	
	出願数	許可者数	出願数	許可者数	出願数	許可者数
2002	13	8	1	0	5	1
2003	7	3	2	0	18	11
2004	8	4	0	0	19	12
2005	10	7	2	0	12	11
2006	14	7	7	2	23	13
2007	5	3	2	1	11	9
2008	4	2	3	0	6	4
2009	0	0	4	1	8	6
2010	1	0	1	0	3	1

2) 学科コース毎の卒業者数の推移

年度	生物生産科学科		生物機能科学科		生産環境科学科			合計
	資源生物科学	生産システム学	応用生命科学	生物材料科学	生物環境科学	地域環境創造学	生物資源経済学	
2002	96	35	94	34	30	33	50	372
	85	21	79	20	26	27	32	290
2003	92	33	98	42	28	37	48	378
	83	20	86	24	25	33	30	301

上段：4回生数、下段：卒業者数

3) 学科毎の卒業者数の推移

年度	資源生物科学科	応用生命科学科	地域環境工学	食料・環境経済学科	森林科学科	食品生物科学科	生物生産科学科		生物機能科学科		生産環境科学科			農林生物学科	合計
							資源生物科学	生産システム学	応用生命科学	生物材料科学	生物環境科学	地域環境創造学	生物資源経済学		
2004	99	49	34	27	56	31	9	11	10	17	2	4	16	1	366
	83	45	32	23	51	29	3	3	6	6	2	2	6	1	292
2005	113	55	36	35	61	40	3	5	1	6		2	7		361
	103	50	26	31	51	38	0	0	0	0		0	3		302
2006	109	60	41	33	63	37	2	5	1	5		1	3		360
	97	50	33	21	52	32	1	1	1	2		0	2		292
2007	106	64	37	43	69	39		4		2					364
	95	53	21	27	61	36		1		0					294
2008	109	63	53	47	63	37		1		1					374
	93	52	35	37	53	31		1		1					303
2009	107	63	50	43	66	39									368
	81	57	37	32	54	35									296

上段：4回生数、下段：卒業者数

4) 大学院博士後期課程への進学・編入学状況

年度	本学からの 進学者	編入学者		進・入学者		
		出願者	入学者	合計	男	女
2002	90	32	29	119	90	29
2003	85	25	21	106	78	28
2004	73	30	22	95	63	32
2005	71	33	26	97	74	23
2006	68	11	6	74	55	19
2007	50	25	18	68	48	20
2008	58	27	26	84	61	23
2009	38	35	30	68	54	14

5) 大学院学生の出身別構成

1. 修士課程

年度	本学農学部	本学他学部	国内他大学	国外他大学	合計
2002	187	1	86	9	283
2003	205	4	79	10	298
2004	201	6	87	12	306
2005	200	3	78	9	290
2006	207	3	93	4	307
2007	199	1	92	8	300
2008	208	4	89	14	315
2009	198	7	88	12	305

2. 博士課程

年度	本学農学研究科	本学他研究科	国内他大学	国外他大学	合計
2002	90	0	14	15	119
2003	84	1	10	11	106
2004	72	3	12	8	95
2005	66	4	10	17	97
2006	66	0	6	2	74
2007	52	0	11	5	68
2008	58	1	13	12	84
2009	41	1	17	9	68

6) 大学院学生の研究指導委託状況

年度	修士課程			博士後期課程		
	国内	国外	合計	国内	国外	合計
2002	2	3	5	5	8	13
2003	1	3	4	4	2	6
2004	7	1	8	7	3	10
2005	8	2	10	6	0	6
2006	1	0	1	4	1	5
2007	2	0	2	2	1	3
2008	0	0	0	2	1	3
2009	2	0	2	3	1	4

7) 研修員等の受入れ

区分 \ 年度	2004	2005	2006	2007	2008	2009
研修員	17	30	21	21	25	24
文部省内地研究員						
産業教育内地留学生						
日本学術振興会特別研究員	21	10	9	8	13	12
私学研修員	1		2	2	1	4
公立大学研修員		1	1			
一般受託研究員	7	16	17	12	11	14
農林水産技術会議研究員						
農林水産省流動研究員	1					

普及職員国内留学研修員						
工業技術院流動研究員						
科学技術庁国内留学生						
ユネスコ国際大学院研修講座研修生						
外国人受託研修員	2	1	1	2	1	2
国費外国人留学生						
合 計	49	58	51	45	51	56

他中国政府派遣研究員2名

ユネスコ国際大学院研修講座研修生外国人共同研究者で報告1名

8) 大学院修士課程修了者及び博士後期課程修了・認定退学者の進路状況

1. 修士課程

年度	修了者	進学	就職	その他	就職先			
					研究者	技術者	教員	その他
2005	297	80	210	7	50	105	4	51
2006	268	54	207	7	65	81	4	57
2007	297	63	218	16	76	78	2	62
2008	292	43	237	12	70	91	2	74
2009	293	64	212	17	44	110	3	55

2. 博士後期課程

年度	修了・認定退学者	就職	その他	就職先			
				研究者	技術者	教員	その他
2005	66	38	28	21	7	7	3
2006	91	77	14	59	6	7	5
2007	101	82	19	50	16	9	7
2008	70	53	17	38	7	8	0
2009	66	57	9	43	9	4	1

9) 平成21年度 農学研究科修士課程各専攻出身者の活動状況（産業別）

専攻 業種	農学	森林 科学	応用生 命科学	応用生 物科学	地域環 境科学	生物資源 経済学	食品生 物科学	合計
(製造業)								
農・林・漁業	2	1			3			6
建設業		2			1			3
食料・飲料・タバコ	13	2	14	8	1		14	52
繊維			3		2			5
印刷等	1	2						3
化学・石油	2	3	14	6	1	1	7	34
鉄鋼・金属			1					1
機械・電気		3	2	1	2	1		9
その他	2	5	1	2			2	12
(サービス業)								
電力・ガス		1			1			2
運輸・通信	1	4	5	3	4			17
卸売・小売	1	1	1	4	2		1	10
金融・保険	1	1	3	2		1		8
その他	3	5	4	4	3		3	22
(教育)								
学校教育	1	1		1			1	4
学習支援				2				2
(公務)								
国家公務	2	2			4	1		9
地方公務	1	3		4	5			13
進学、その他	6	15	14	21	10	9	6	81
合 計	36	51	62	58	39	13	34	293

10) 平成21年度 農学研究科博士後期課程各専攻出身者の活動状況（産業別）

専攻 職務内容	農学	森林 科学	応用生 命科学	応用生 物科学	地域環 境科学	生物資源 経済学	食品生 物科学	合計
(製造業) 農・林・漁業 建設業 食料・飲料・タバコ 繊維 印刷等 化学・石油 鉄鋼・金属 機械・電気 その他	1							1
		1	1	2				4
							1	1
(サービス業) 電力・ガス 運輸・通信 卸売・小売 金融・保険 その他				1				1
	2	3	1	3		1	1	11
(教育) 学校教育 学習支援	4	7	4	4	6	4	7	36
(公務) 国家公務 地方公務	1 1							1 2
進学、その他		4	1	1	1	2		9
合 計	9	15	7	11	7	7	10	66

11) 教員の表彰・活動状況（平成21年度）

専攻等	学会賞等を受賞した専任教員数	日本学士院賞、同恩賜賞等の受賞教員数	政府、地方公共団体の審議会等の委員	左のうち政府審議会等委員
農学	2		1	
森林科学	1		4	2
応用生命科学	8		1	
応用生物科学	4			
地域環境科学	2		3	
生物資源経済学			2	
食品生物科学				
附属牧場				
附属農場				
合 計	17	0	11	2

12) 大学院学生のT A、R A、及び日本学術振興会特別研究員の受入（21年度）

年度	T A採用者数		日本学術振興会特別研究員の受入数		リサーチアシスタント採用数
	T A採用者数 (修士課程)	T A採用者数 (博士課程)	日本学術振興会特別研究員の受入数 (D C)	日本学術振興会特別研究員の受入数 (P D)	
2003	162	103	11	5	40
2004	182	138	16	5	45
2005	225	89	17	3	79
2006	237	85			78
2007	243	81			59
2008	274	78			33
2009	310	78	43	12	17

13) 農学研究科教員の配置

(平成22年4月1日現在)

区 分	教 授	准教授	講 師	助 教	合 計
農学専攻	7 (1)	6 (1)	2	9 (1)	24 (3)
森林科学専攻	9	6	3 (1)	11 (1)	29 (2)
応用生命科学専攻	10 (1)	8		15 (1)	33 (2)
応用生物科学専攻	13	13		14 (2)	40 (2)
地域環境科学専攻	13	10 (1)	5	12 (2)	40 (3)
生物資源経済学専攻	7 (1)	7		4 (1)	18 (2)
食品生物科学専攻	6	4		10 (1)	20 (1)
附属牧場		1			1
附属農場	1	1		5 (1)	7 (1)
合 計	66 (3)	56 (2)	10 (1)	80 (10)	212 (16)

() 内は女性で内数

14) 農学研究科教員の構成

年 度	教 授	准教授	講 師	助 教	合 計
2002	72 (3)	68 (3)	12 (2)	86 (9)	238 (17)
2003	69 (3)	62 (2)	4 (7)	77 (7)	212 (19)
2004	73 (3)	60 (2)	11 (2)	83 (7)	227 (14)
2005	66 (2)	61 (3)	13 (1)	79 (7)	219 (13)
2006	65 (2)	64 (3)	11 (1)	80 (10)	220 (16)
2007	62 (2)	61 (3)	12 (1)	79 (10)	214 (16)
2008	61 (2)	60 (3)	12 (1)	79 (9)	212 (15)
2009(21.4.1 現在)	61 (2)	57 (3)	12 (1)	77 (9)	207 (15)

() 内は女性で内数

15) 農学研究科・農学部教員の年齢構成

(平成22年4月1日現在)

年齢区分	教 授	准教授	講 師	助 教	合 計
60歳以上	20	4		2	26
59～55	28	7		1	36
54～50	14	15	5	2	36
49～45	2	11	2	13	28
44～40	2	17	1	23	43
39～35		2	2	20	24
34～30				17	17
30歳未満				2	2
合 計	66	56	10	80	212

16) 農学研究科／農学部の管理運営に係わる各種委員会(平成22年4月1日現在)

委 員 会 名	構 成	審 議 事 項
専 攻 長 会 議	研究科長(委員長)、評議員、副研究科長、各専攻長、各附属施設長	研究科教授会、研究科会議の議題調整その他研究科の管理運営に関する事項
学 科 長 会 議	学部長(委員長)、評議員、副研究科長、各学科長、	学部教授会の議題整理その他学部の管理運営に関する事項
研究科教務委員会	研究科長が指名する者(委員長)、専攻の教授各1名	研究科における教育課程、入学学生選抜その他教務に関する事項
学部教務委員会	研究科長が指名する者(委員長)、入学学生選抜方法研究委員会委員、学科の教授各1名、	学部における教育課程、入学学生選抜その他教務に関する事項
将来構想検討委員会	研究科長(委員長)、副研究科長及び評議員、専攻の教授各1名、事務部長	将来構想及び中期計画に関する事項
制度・組織等検討委員会	研究科長が指名する者(委員長)、専攻の教授各1名、附属農場の教授1名、事務部長	制度・組織の改廃及び規程の整備に関する事項
建 築 委 員 会	研究科長が指名する者(委員長)、専攻の教授各1名、附属農場の教授1名	建築物その他の施設の利用整備に関する事項、敷地と建築物との配合その他敷地の利用に関する事項
広 報 委 員 会	研究科長が指名する者(委員長)、京都大学広報委員会委員、専攻の教員各1名、附属施設の教員各1名、総務課長、教育・研究協力課長	広報活動の企画、立案及び実施に関する事項
比較農業論講座運営協議委員会	研究科長が指名する者(委員長)、比較農業論講座教員、留学生専門教育教員、専攻の教授各1名	比較農業論講座の運営に関する事項
研究活動推進委員会	研究科長が指名する者(委員長)、専攻の教授各1名、附属農場の教授1名、	研究の活動推進及びプロジェクト研究の企画に関する事項
評 価 委 員 会	研究科長(委員長)、副研究科長及び評議員、専攻長、学科長、附属施設長、事務部長	教育研究活動等についての評価に関する事項
研究活動評価専門委員会	副研究科長、評価委員会の指名する教員若干名	
教育活動評価専門委員会	副研究科長、評価委員会の指名する教員若干名	研究科、学部の教育活動評価に関する事項
年報編集専門委員会	副研究科長、各専攻・学科・施設の教員1名、	年報の編集・刊行に関する事項
学 生 生 活 委 員 会	研究科長が指名する者(委員長)、京都大学学生部委員会委員、専攻の教員各1名	学生の厚生補導に関する事項

国 際 交 流 委 員 会	京都大学国際交流委員会委員（委員長）、農学研究科国際交流室長、研究科長が指名する者、留学生専門教育教員1名、専攻の教員各1名、附属施設の教員各1名	国際交流、海外派遣及び留学生に関する事項
図 書 委 員 会	京都大学附属図書館協議会協議員（委員長）、専攻の教員各1名、附属農場の教員1名	図書室の運営、図書購入その他図書の利用に関する事項
環境・安全・衛生委員会	研究科長が指名する者（委員長）、専攻・附属施設の教員各1名、衛生管理者若干名、化学物質管理責任者若干名、京都大学化学物質管理システム（KUCRS）運営委員会委員、事務部長	環境保全及び安全衛生に関する事項
情報システム運営委員会	京都大学学術情報メディアセンター協議員、研究科長が指名する者、専攻・附属農場の教員各1名、事務部長	情報システムの保守運営に関する事項
情報セキュリティ委員会	研究科長（委員長）研究科長が指名する者、京都大学学術情報メディアセンター協議員、KUINS利用負担金検討委員会委員、情報環境機構教育用コンピューターシステム運用委員会委員、情報システム運営委員会委員、附属牧場の教員1名、事務部長、総務課長、経理課長、教育・研究協力課長	情報セキュリティに関する事項
農場・牧場連絡協議委員会	研究科長が指名する者、附属施設長、農学専攻長、応用生物科学専攻長	附属施設における共同研究プロジェクト及び教育プロジェクト等に関する事項
動 物 実 験 委 員 会	京都大学動物実験委員会委員 動物実験を取扱う分野等の教員	動物実験の実施及び施設等の設置等の可否等の審査その他、動物実験の実施等に関する事項
放射線障害防止委員会	研究科長、放射性同位元素等管理委員会委員、放射線障害予防小委員会委員、放射線取扱主任者及び副主任者、エックス線作業主任者及び副主任者	放射線同位元素及びエックス線の安全性に関する問題、教育、訓練、施設の改廃、維持に関する事項
人権問題対策委員会	京都大学人権委員会委員、カウンセリングセンター管理運営委員会委員、京都大学学生部委員会委員、副研究科長1名、各専攻の教授1名、事務部長	人権侵害にかかわる諸問題の防止

17) 施設設備（農学研究科・農学部：吉田地区北部構内）

区 分	建 物		
	築 年	建面積 (㎡)	延面積 (㎡)
農学部			
農学部総合館	昭42	789	3,839
〃	昭44	1,238	5,550
〃	昭47	1,835	9,840
〃	昭48	1,150	8,060
〃	昭50	675	3,488
〃	昭52	732	3,147
〃	昭53	0	226
〃	昭59	273	1,558
〃	昭63	385	2,069
旧農業簿記研究施設	昭 8	187	415
〃	昭41	109	327
農学部危険物倉庫	昭39	22	22
ガンマー線照射室	昭36	25	25
〃	昭42	109	109
農学部機械工作場	昭46	264	330
農学研究科2号館	平 6	346	1,782
農・林学科温室実験室	昭45	133	133
農学科温室南棟	平 7	85	85
熱帯農学専攻温室	平 7	85	85
農薬研究施設	昭39	331	430
〃	昭46	0	265
〃	昭57	49	95
農薬研農薬試験室	昭40	122	122
農業工学科温室	平 6	172	172
〃	平 6	0	69
農芸化学科温室	平 6	132	132
農芸化学科準備室	平 6	32	32
農学科温室東棟	平 6	148	148
農学科温室西棟	平 6	148	148
農学部ガラス温室	昭48	79	79
農学部危険物倉庫	昭50	22	22
農学部温室	昭52	98	98
農業工学科機器収納庫	昭58	173	265
畜産学科家畜実験室	昭58	56	56
農学部資料館	昭58	95	166
初期胚操作動物実験室	昭61	733	922
農学科育種学温室	昭62	138	138
農学専攻形質転換体植物順化室（温室）	平13	113	113
植物遺伝学バイオリソース温室	平15	57	57
農学専攻形質転換体植物育成室（温室）	平15	59	59

総合研究棟（農・生命）	平17	1,418	7,608
旧演習林事務室	昭 6	438	438
農学科温室	平17	160	160
農学科プレハブ倉庫	平19	83	83
その他		1,028	1,492
計		15,209	53,804

18) 施設設備（農学研究科・農学部：宇治地区構内）

区 分	建 物		
	築 年	建面積（㎡）	延面積（㎡）
宇治地区研究所			
宇治地区研究所本館	昭37	0	263
〃	昭38	0	472
〃	昭43	0	204
〃	昭45	0	1,895
〃	平19	0	61
倉庫	昭52	34	34
〃	昭59	17	17
〃	平6	12	12
新食品素材製造実験室	昭59	160	160
食品動物実験棟	平19	180	180
農学専攻温室	平19	27	27
その他		0	58
計		430	3,383

19) 施設設備（附属農場）

区 分	建 物		
	築 年	建面積（㎡）	延面積（㎡）
本場（八丁畷）			
肥料庫	昭 5	113	113
〃	昭43	7	7
蔬菜部堆肥舎	昭 4	59	59
摂津農場危険物倉庫	昭41	6	6
蔬菜選別室	昭 3	83	83
コンクリート倉庫	昭 5	86	86
農機具舎	昭 5	116	116
炊事室	昭 5	48	48
〃	昭55	4	4
加工室	昭 8	308	308
農場本館（管理所）	昭 5	333	469
農場別館	昭 6	161	161
蔬菜ガラス室	昭10	99	99

研究室（作物果樹蔬菜）	昭36	165	165
〃	昭46	132	132
機械格納庫	昭46	197	197
危険物倉庫	昭48	3	3
畜産堆肥舎	昭55	35	35
農場ガラス温室	昭56	202	202
農場水田バラック	昭 3	178	178
蔬菜選別室	昭48	28	28
畜糞処理施設	昭59	108	108
〃	昭60	18	18
〃	昭61	9	9
農場車庫	昭61	70	70
農場学生更衣室	昭61	59	59
農場コンバイン収納庫	昭61	48	48
農場薬剤室	昭63	58	58
果樹温室	平 4	281	281
堆肥舎	平 9	123	123
簡易トイレ	平17	4	4
(小計)		(3,141)	(3,277)
本場（古曽部地区）			
大サボテン室	昭 7	99	99
小サボテン室	昭16	46	46
大温室	昭51	141	141
〃	昭53	118	118
〃	昭55	185	185
〃	昭57	23	23
〃	昭57	44	44
〃	昭58	81	81
古曽部温室	昭47	119	119
古曽部演芸場実験室	昭47	48	48
温室研究室	昭53	208	208
(小計)		(1,112)	(1,112)
京都農場			
農場材料庫	大14	46	46
園芸実験室	大14	89	178
(小計)		(135)	(224)
計		4,388	4,613

20) 施設設備（附属牧場）

区 分	建 物		
	築 年	建面積（㎡）	延面積（㎡）
附属牧場			
収納舎	昭45	162	162
牧場宿泊室	昭45	89	89
堆肥舎	昭54	100	100
繁殖育成牛舎棟	昭54	988	988
繁殖育成牛舎棟	平20	509	509
管理宿泊棟	昭55	472	939
解体室棟	昭56	147	147
大農具舎棟	昭56	487	487
中小家畜棟	昭56	293	293
肥育牛舎棟	昭56	463	463
肥育牛舎棟	平20	377	377
堆肥置場	昭56	200	200
危険物倉庫	昭56	8	8
第2堆肥置場	平8	192	192
堆肥処理場	平8	184	184
計		4,671	5,138

21) 施設設備（農学研究科・農学部：物集女地区）

区 分	建 物		
	築 年	建面積（㎡）	延面積（㎡）
栽培植物起源学研究室			
栽培植物起源学研究室本館	昭17	129	129
栽培植物起源学研究室倉庫	昭19	87	87
栽培植物起源学研究室第1温室	平4	70	70
栽培植物起源学研究室第3温室	昭50	77	77
栽培植物起源学研究室第4温室	平8	70	70
栽培植物起源学研究室第5温室	平8	70	70
栽培植物起源学研究室化学実験室	昭19	115	115
栽培植物起源学研究室標本庫	平4	42	84
栽培植物起源学研究室バイオリソース温室	平15	70	70
その他		72	72
計		802	844

22) 農学研究科／農学部の建物整備状況

団地名	施設名称	保有面積 (a)m ²	必要面積 (b)m ²	不足整備面積 (c=b-a)m ²	不足割合 (c/a)%
北 部	農学部	49,922	63,428	14,053	28.1
宇 治	農学部	3,120	3,120	0	0.0
丹 波	附属牧場	4,794	4,794	0	0.0
物集女	栽培植物起源学研究室	844	844	0	0.0
長 浜	舞鶴水産実験所	763	763	0	0.0
八丁畷	農学部	199	199	0	0.0
合 計		59,642	73,148	14,053	23.6

23) 購入外国雑誌タイトル数の推移

	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
タイトル数	490	473	448	448	336	320	293

24) 文献複写処理件数の推移

	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
受付件数	3,473	3,388	3,249	2,338	2,440	1,892	1,421
依頼件数	1,026	1,321	968	1,003	1,018	1,166	735

25) 京都大学農学部・農学研究科部局間学術交流協定覚書締結リスト

2010年3月現在

番号	締結先機関名 (英文名)	国名	締結年月日
1	ウィスコンシン大学マディソン校農学・生命科学部 (College of Agricultural and Life Sciences, University of Wisconsin-madison)	アメリカ合衆国	昭和48年6月4日
2	ボゴール農科大学 (Bogor Agricultural University)	インドネシア	昭和58年7月26日 (平成13年11月28日) (平成18年11月27日)
3	ロンドン大学ワイ校 (Wye College, London University)	イギリス	昭和58年7月26日
4	コーネル大学農業・生命学部 (Cornell University)	アメリカ合衆国	平成元年8月4日
5	ハノーバー大学景観保全・自然保護研究所 (Hannover University)	ドイツ	平成3年4月18日
6	ウィーン農科大学 (Wien Agricultural University)	オーストリア	平成4年7月30日
7	アントファガスタ大学海洋資源学部 (Universidad de Antofagasta)	チリ	平成4年10月26日
8	ソコイネ農科大学 (Sokoine University of Agriculture)	タンザニア	平成6年2月14日
9	カザフ農業大学 (Kazakh State University of Agriculture)	カザフスタン 共和国	平成10年7月3日
10	コンケン大学 (Khon Kaen University)	タイ	平成12年6月5日 (平成13年6月22日)
11	上海水産大学 (Shanghai Fisheries University)	中国	平成15年10月24日 (平成18年3月20日)
12	南京農業大学 (Nanjing Agricultural University)	中国	平成16年10月21日 (平成16年10月21日)
13	昆明理工科大学 (Kunming University of Science and Technology)	中国	平成18年9月21日 (平成18年9月21日)
14	東北林業大学 (Northeast Forestry University)	中国	平成18年12月30日 (平成18年12月30日)
15	フィレンツェ大学農学部 (Faculty of Agriculture of the University of Florence)	イタリア	平成21年1月29日
16	ワーゲニンゲン大学 (Educational Institute, Wageningen University)	オランダ	(平成20年12月15日)
17	フロリダ大学 (Institute of Food and Agricultural Sciences, University of Florida)	アメリカ合衆国	平成21年1月27日 (平成22年3月22日)
18	アルバータ大学 (Faculty of Agricultural, Life and Environmental Sciences, University of Alberta)	カナダ	平成21年2月19日 (平成21年2月19日)
19	中国農業大学 (China Agricultural University)	中国	平成21年7月14日 (平成21年7月14日)
20	浙江大学農学生命環境科学部 (Faculty of Agriculture, Life and Environment Sciences, Zhejiang University, China)	中国	(平成21年7月30日)

2 1	ナンシー・アンリボワンカレ大学 (Faculty of Science and Techniques, Nancy Université, Université Henri Poincaré, France)	フランス	平成22年2月15日 (平成22年2月15日)
2 2	タイ王国科学技術開発庁国立ナノテクノロジー センター (National Nanotechnology Center, National Science And Technology Development Agency, Thailand)	タイ	(平成22年2月16日)

※ () 内は学生交流協定（授業料等不徴収）の締結年月日

26) 学部・大学院学生の外国留学数

年 度	学部学生	修士課程	博士課程	合 計
2003	2	4	3	9
2004	2	1	0	3
2005	3	1	0	4
2006	1	3	0	4
2007	7	3	0	10
2008	4	1	1	6
2009	2	2	0	4

27) 外国人留学生受入状況

年 度	学部学生	修士課程		博士課程			合 計
	国 費	国 費	私 費	国 費	外国政府 派遣	私 費	
2002	1	4	5	11	2	4	27
2003	1	3	8	15	0	12	39
2004	0	2	11	6	0	5	24
2005	0	5	6	12	0	12	35
2006	0	7	5	4	0	5	21
2007	0	5	4	7	0	5	21
2008	2	4	10	5	0	6	27
2009	2	7	22	26	0	25	82

28) 国別留学生数(農学研究科・農学部)

国名コード	国名		国費					私費										合計												
			学部	修士	博士	専門職	研究	合計	学部	修士	博士	専門職	研究	特研	聴講	特学	特院	科目	合計	学部	修士	博士	専門職	研究	特研	聴講	特学	特院	科目	合計
102	1	インド			3			3										0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
103	2	ネパール			2			2										0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
104	3	バングラディシュ			2			2										0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
106	4	ミャンマー						0			1							1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
107	5	タイ		1	2			3	1	1						1		3	1	2	2	0	0	0	0	1	0	0	6	
108	6	マレーシア		1				1										0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
110	7	インドネシア	1	1	2			4		3	4							7	1	4	6	0	0	0	0	0	0	0	11	
111	8	フィリピン			1			1										0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
113	9	韓国	1		1			2	3	1	4							8	4	1	5	0	0	0	0	0	0	0	10	
115	10	ベトナム						0		1								1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
116	11	中国			6			6	5	15	11		6	1				38	5	15	17	0	6	1	0	0	0	0	44	
117	12	カンボジア			1			1										0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
118	13	ブータン						0			1							1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
119	14	ラオス			1			1										0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
122	15	台湾						0		1	1		3	1		1		7	0	1	1	0	3	1	0	1	0	0	7	
301	16	エジプト						0			2							2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	
311	17	ガーナ						0			1							1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
307	18	ケニア		1				1										0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
310	19	ナイジェリア			1			1										0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
355	20	マリ			1			1										0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
373	21	モザンビーク		1				1										0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
502	22	米国			1			1										0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
608	23	ブラジル		2				2										0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
611	24	アルゼンチン			2			2										0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	
			2	7	26	0	0	35	9	22	25	0	9	2	0	2	0	0	69	11	29	51	0	9	2	0	2	0	0	104

29) 公開講座等

1. 森林科学専攻の公開講座（有料）

開催日	テーマ等	参加者	開催場所
平成16年10月16～17日	森と木から見える世界	124	農学研究科
平成17年10月22～23日	サステナブルって何ですか？ ー拡がる森の見方ー	63	生存圏研究所
平成18年10月28日	森を観るミクロな目・マクロな目	54	農学研究科
平成19年10月13～14日	森を食べる ー森と木と健康ー	40	生存圏研究所
平成20年10月25～26日	森が拓く未来	75	農学研究科
平成21年10月31 ～11月1日	森と、地球と、それから私	81	生存圏研究所

*本件は森林科学専攻と木質科学研究所（平成16年度より生存圏研究所）が合同で毎年交互に開催

催

2. 生物資源経済学専攻の公開講座（有料）

開催日	テーマ等	参加者	開催場所
平成16年7月12～14日	第68回農林経済・経営・簿記講習会	112	農学研究科
平成17年7月11～13日	第69回農林経済・経営・簿記講習会	148	農学研究科
平成19年1月15～17日	第70回農林経済・経営・簿記講習会 第一クラス農業経営におけるビジネス・マインド	9	農学研究科
平成18年7月24～26日	第二クラス 地域農業・農業経営のコーディネート	13	
平成18年7月27～29日	第三クラス 食品トレーサビリティの原理と応用	32	
平成20年1月7～9日	第71回農林経済・経営・簿記講習会 第一クラス 農業経営によるビジネス・マインド養成のための基礎実習	11	農学研究科
平成19年7月23～25日	第二クラス 地域農業・農業経営のコーディネート	6	
平成19年7月26～28日	第三クラス 食品トレーサビリティの原理と応用	29	
平成21年1月13～15日	第72回京都大学 食と農のマネジメント・セミナー 第一クラス農業経営におけるビジネス・マインド養成のための基礎実習	7	農学研究科 綾部市里山 交流センター
平成20年7月29～31日	第二クラス地域農業・農業経営のコーディネート	8	
平成20年7月23～25日	第三クラス食品トレーサビリティの原理と応用	29	
平成22年2月3～4日	第73回京都大学 食と農のマネジメント・セミナー 第一クラス短期集中講義形式による複式簿記の原理と実践	7	農学研究科
平成21年7月23～25日	第三クラス食品トレーサビリティの原理と応用	48	

3. 附属農場の公開講座（無料）

開催日	テーマ等	参加者	開催場所
平成16年11月7日	農業と食料の未来ーその1ー	75	附属農場
平成17年11月3日	農業と食料の未来ーその2ー	58	附属農場
平成18年11月3日	食料としての大豆の意義	57	附属農場
平成19年11月3日	農業と食料の未来ーその3ー	54	附属農場
平成20年11月1日	京都大学院農学研究科附属農場 第12回公開講座	48	附属農場

平成21年11月3日	京都大学大学院農学研究科属農場 第13回公開講座	51	附属農場
------------	-----------------------------	----	------

4. 農学研究科公開シンポジウム（無料）

開催日	テーマ等	参加者	開催場所
平成16年11月30日	お酒からのメッセージー食・生活・文化との関わりを探る	486	百周年記念ホール
平成17年7月15日	食の安全性をめぐって	321	百周年記念ホール
平成18年6月23日	高品質牛肉生産に関する研究ービタミンC投与と牛肉の質の関係Ⅱー	155	京大会館
平成18年5月25日 平成18年6月29日 平成18年7月27日 平成18年10月26日 平成18年11月30日 平成18年12月22日	連続シンポジウム 多様性の中の統一を目指して	第一回 149 第二回 134 第三回 143 第四回 115 第五回 116 第六回 114	農学研究科
平成19年2月15日	公開シンポジウム 未来と地球を見据えた食の研究	110	京大会館
平成19年2月15日 ～17日	国際シンポジウム アジアのマツ枯れ	90	百周年記念ホール
平成19年4月26日 平成19年5月31日 平成19年6月28日 平成19年10月25日 平成19年11月29日 平成19年12月21日	連続シンポジウム 多様性の中の統一を目指して	第一回 94 第二回 71 第三回 156 第四回 79 第五回 105 第六回 110	農学研究科
平成20年11月17日 ～28日 平成20年12月17日 ～28日	農学研究科シンポジウム ーポスター展示と交流（参加者との双方向コミュニケーションを目指して）ー 第一回テーマ「なごみ」 第二回テーマ「タイ」	第一回 46 第二回 55	農学研究科

5. その他

COE（微生物）

・シンポジウム

開催日	テーマ等	参加者	開催場所
平成16年3月10日	公開国際シンポジウム 21世紀COEプログラム「微生物機能の戦略的活用による生産基盤拠点」“京大農学研究科における微生物機能の開発研究”	162	京大会館
平成16年11月30日	農学研究科公開シンポジウム 「お酒からのメッセージー食・生活・文化との関わりを探るー」	486	京都大学 百周年時計台記念館 百周年記念ホール

・産学連携シンポジウム

開催日	テーマ等	参加者	開催場所
-----	------	-----	------

平成16年2月26日	第1回産学官ミニシンポジウム	53	富山県立大学生物工学センター
平成16年7月23日	第2回ミニシンポジウム 「産業を創出する応用微生物学」	47	信州大学農学部
平成16年10月15日	第3回ミニシンポジウム 「産業を創出する応用微生物学（2）」	58	石川県農業短期大学 農業資源研究所
平成17年3月4日	第4回ミニシンポジウム 「産業を創出する応用微生物学（3）」	53	山口大学
平成17年7月22日	第5回ミニシンポジウム 「産業を創出する応用微生物学（4）」	76	福井県国際交流会館
平成18年2月3日	第6回ミニシンポジウム 「産業を創出する応用微生物学（5）」	48	九州大学 箱崎キャンパス 国際ホール
平成18年7月28日	第7回産学官ミニシンポジウム 「産業を創出する応用微生物学（6）」	58	宮城学院女子大学
平成19年2月16日	第8回産学官ミニシンポジウム 「産業を創出する応用微生物学（7）」	67	京都学園大学
平成19年7月27日	第9回産学官ミニシンポジウム 「産業を創出する応用微生物学（8）」	92	岡山大学 創立50周年記念館 多目的ホール
平成20年1月11日	第9回産学官ミニシンポジウム 「産業を創出する応用微生物学（9）」	165	農学研究科

・セミナー

開 催 日	テ ー マ 等	参加者	開催場所
平成15年9月30日	Gene Expression Laboratory, The Salk Institute for Biological Studies (コレステロールの細胞内輸送 ～アメリカ博士課程での研究)	21	農学研究科
平成15年10月31日	RNA silencing in plants and animals: mechanism and biological roles (植物と動物におけるRNAサイレンシング：その機構と生物学的役割について)	25	農学研究科
平成15年11月4日	Distribution and pathogenicity of bacteria species carried by Bursaphelenchus xylophilus in China (“マツ枯れ”の病原体は細菌か?)	17	農学研究科
平成15年11月6日	有用酵素探索源としての嫌気性微生物	26	農学研究科
平成15年12月3日	企業におけるバイオ戦略と研究開発	37	農学研究科
平成15年12月22日	植物の病害抵抗性におけるシャペロン分子	18	農学研究科
平成16年1月20日	企業におけるバイオ戦略と研究開発(2)	35	農学研究科
平成16年2月13日	Principles of Metabolic Engineering	40	農学研究科
平成16年3月12日	Principles of Metabolic Engineering 2	32	農学研究科

平成16年3月26日	Production of biotech proteins under GMP-conditions	30	農学研究科
平成16年4月23日	①Molecular characterization of microbial population and functional gene diversities in complex contaminant mixture environments ②Functional analysis of the murine peroxisomal membrane protein Pmp2 by genomic inactivation	26	農学研究科
平成16年5月14日	生物学とスケールフリーネットワーク：代謝を例に	21	農学研究科
平成16年9月30日	Insight into an ammonia-oxidizing bacterium, Nitrosomonas europaea, from the complete genome sequence	18	農学研究科
平成16年10月5日	中国における応用微生物学の現状および中国原産植物由来の抗菌性物質のスクリーニング	16	農学研究科
平成16年10月18日	蛋白質立体構造から機能を予測する	24	農学研究科
平成16年11月1日	バイオインフォマティクス入門	27	農学研究科
平成16年11月29日	ゲノムおよびプロテオーム情報からのタンパク質機能予測	22	農学研究科
平成16年12月13日	RNAi の分子機構 － 遺伝子発現抑制の原理と実験技術 －	31	農学研究科
平成16年12月21日	Single Protein Production in Living Cells	27	農学研究科
平成17年1月17日	蛋白質の設計 － 計算による設計と実験的検証 －	27	農学研究科
平成17年1月18日	Cloning and Characterization of Genes Encoding Nucleoside Hydrolase I and II from Corynebacterium ammoniagenes, and New Trends in Biotechnology in Korea	17	農学研究科
平成17年2月18日	Nematode spermatogenesis and phylogeny	15	農学研究科 (宇治キャンパス)
平成17年3月14日	Aromatic metabolism in obligate anaerobic bacteria	22	農学研究科
平成17年5月24日	Lonza Biotechnology: From the test tube to the 75 m3 bioreactor	28	農学研究科
平成17年7月25日	ヒトの苦味受容体の進化	24	農学研究科
平成17年10月13日	Bio-inspired Power Source for Microelectronics Applications	21	農学研究科
平成17年10月17日	Biocatalysis in Pharmaceutical Development: Opportunities, Achievements and Prospects	30	農学研究科
平成17年11月1日	①グリーンバイオ研究の展開 ②微生物機能を利用した物質生産	36	農学研究科
平成17年11月7日	Protein import into Peroxisomes	24	農学研究科

平成17年11月24日	ゲノム時代の発酵生産菌育種戦略	37	農学研究科
平成17年12月7日	①新規微生物酵素の開発と工業利用 ②醸造微生物のポストゲノム研究 ー清酒麹菌を用いた有用物質生産ー	35	農学研究科
平成18年1月17日	①酵母の小胞体輸送系に関わる膜タンパク質 ②ビール酵母のゲノム解析	33	農学研究科
平成18年1月30日	Candida antarctica lipase B for synthesis of special polymers and formation of C-S, C-N and C-C bond	32	農学研究科
平成18年3月1日	White Biotechnology in Europe	28	農学研究科
平成18年6月20日	Biocatalysis with cytochrome P450 mono oxygenases: advantages and bottlenecks	32	農学研究科
平成18年6月26日	From the parts to the systems 大腸菌を用いたシステム生物学	34	農学研究科
平成18年6月29日	ナノテク・バイオ融合研究： ポリマーテクノロジーのバイオ分野への応用	37	農学研究科
平成18年7月3日	バイオテクノロジーの父、高峰譲吉	67	農学研究科
平成18年7月10日	光学活性化合物生産のために酵素・微生物反応をどのように活用するか	38	農学研究科
平成18年7月25日	アーキアによるメタン生成と嫌気メタン酸化	29	農学研究科
平成18年9月29日	Receptor Dynamics During Peroxisomal P protein Transport	29	農学研究科
平成18年11月8日	①代謝型グルタミン酸受容体の構造と活性化機構 ②洗剤用酵素の開発研究	38	農学研究科
平成18年11月15日	バイオベンチャーに挑む	37	農学研究科
平成18年11月28日	NADH脱水素酵素のすべて	28	農学研究科
平成18年12月12日	こだわりのおいしいパンをつくる 山崎パンの挑戦 ー製パン業の具体的研究事例の紹介と研究職採用へのアドバイス	32	農学研究科
平成18年12月13日	進化理論によりバイオビジネスを加速する ー不均衡進化理論と不均衡変異導入法の実力ー	36	農学研究科
平成18年12月13日	White Biotechnology ーIndustrial Application of Biotechnologyー Today and Future	35	農学研究科
平成19年1月15日	バイオベンチャーに挑む	33	農学研究科
平成19年3月7日	Enzymes in Organic Synthesis From Commercial Enzymes to Tailor-Designed Biocatalysts	32	農学研究科
平成19年4月27日	バイオ技術から新しい食品機能の発見と応用ー脂肪酸発酵とアンチエイジング健康食品“セサミンE”の開発ー	37	農学研究科
平成19年5月11日	食品開発における安全と安心 ークノールにおける食品開発技術戦略ー	64	農学研究科

平成19年5月18日	今、大切にしたいこと	32	農学研究科
平成19年6月20日	三菱化学のバイオプロセス開発事業 －事例の紹介と今後の展望－	35	農学研究科
平成19年6月27日	欧米及びわが国における天然物創薬の動向 －資源としての菌類の可能性－	56	農学研究科
平成19年7月11日	①ゲノム解析とメタボローム解析が拓く 新ビジネス ②次世代型塩基配列決定技術がもたらす 生物学研究の新たな展開	32	農学研究科
平成19年7月17日	Microbial biocatalysts for whole-cell reaction	37	農学研究科
平成19年10月12日	Enzyme Catalysis and the Production of Functional Food	30	農学研究科
平成19年10月16日	Secretion of Flavins by Shewanella Species, Their Role in Extracellular Electron Transfer and Biotechnological Applications	34	農学研究科
平成19年10月24日	国菌：麹菌	58	農学研究科
平成19年11月1日	微生物にたのんで裏切られたことはない －協和醗酵の研究活動の紹介－	46	農学研究科
平成19年11月19日	おいしく食べて健康づくり －味の素株式会社の研究活動について－	53	農学研究科
平成19年11月30日	医薬研究開発の実際	33	農学研究科
平成19年12月11日	Sustainable Business-buisness scopes and style-	30	農学研究科
平成19年12月12日	新たに会社を築くということ －技術を、人材を、資金を築く－	83	農学研究科
平成20年1月23日	Biocatalysis -Fundamentals and applications-	32	農学研究科
平成20年3月4日	Enzymatic catalysis in poorly soluble systems using the production of biotensides as an example	30	農学研究科
平成20年3月11日	Enzymes for biooxidation -monooxygenases, laccases, desaturases-	37	農学研究科

・ 共催行事

開 催 日	テ ー マ 等	参加者	開催場所
平成15年11月8日 ～9日	第9回微生物をめぐる生物間相互作用に関する小集会	50	花脊山の家
平成15年11月16日 ～18日	第12回日本ドイツ酵素工学ワークショップ	51	ピアザ淡海
平成15年11月22日	第3回環境微生物研究会シンポジウム「微生物バイオテクノロジー－高校と大学の接点」	53	京大会館
平成15年12月5日	第3回 脂質工学研究部会講演会	67	大阪市立工業研究所
平成16年6月3日 ～4日	第16回酵母合同シンポジウム 「いま、酵母研究に何が求められているか」	320	大阪市立大学

平成16年9月12日 ～15日	The 9th Swiss-Japanese Joint Meeting on Biotechnology and Bioprocess Development	54	Mueren, Switzerland
平成16年10月30日	第6回 CLA懇話会	65	ぱるるぷらざ京都
平成16年12月17日	第3回 脂質工学研究部会講演会	73	大阪市立工業研究所
平成18年1月20日	脂質工学研究部会講演会	76	ぱるるぷらざ京都
平成18年1月26日 ～27日	第9回生体触媒化学 びわ湖シンポジウム	73	ピアザ淡海
平成18年9月18日 ～20日	The 10th Japanese-Swiss Meeting on Biotechnology and Bioprocess Development	45	金沢国際ホテル
平成18年10月30日 ～11月2日	第9回日中韓酵素工学会議	96	ピアザ淡海
平成19年2月15日 ～18日	「アジアにおけるマツ枯れ」に関する国際シンポジウム	80	京都大学
平成19年3月2日	第5回脂質工学研究部会講演会	75	ぱるるぷらざ京都
平成19年9月26日	日本生物工学会2007年度大会シンポジウム 「機能性脂質生産の新たなターゲットを探る」	150	広島大学
平成19年11月8日 ～10日	第14回日本ドイツ酵素工学ワークショップ	60	白鳥路ホテル
平成20年2月29日	第6回脂質工学研究部会講演会	77	メルパルク京都

・後援行事

開催日	テーマ等	参加者	開催場所
平成17年10月20日	2nd International Conference of Combinatorial Bioengineering (Human Life Science Forum) (Osaka, Japan)	48	インテック大阪
平成17年11月16日	生物工学会シンポジウム： (ナノとコンビのジョイントシンポジウム) 「バイオテクノロジーイノベーション：融合が拓く新しい世界」	93	筑波大学
平成18年1月12日	ナノ・バイオとコンビナトリアル・バイオのジョイントシンポジウム (第6回コンビナトリアル・バイオエンジニアリングシンポジウム－新バイオ分子と機能の創出をめざして－)	82	理化学研究所
平成18年11月10日	第3回 コンビナトリアル・バイオエンジニアリング会議	55	千里阪急ホテル
平成19年11月9日	第4回 コンビナトリアル・バイオエンジニアリング会議	64	千里阪急ホテル

・英語講座

開催日	テーマ等	参加者	開催場所
平成15年12月～ 平成16年3月	連続講座「科学英語論文の書き方」	48	農学研究科
平成16年5月～	連続講座「科学英語論文の書き方(2)」	45	農学研究科

平成16年12月			
平成19年9月13、 15日	COE科学英語集中講義 「初めての研究論文の書き方：ジャンル 分析とコーパスを使って」	46	農学研究科

COE（昆虫科学）

・国際シンポジウム

開催日	テーマ等	参加者	開催場所
平成17年3月2日 ～3日	(第1回)Development and Metamorphosis	120	京大会館
平成17年10月31日 ～11月2日	(第2回)Innovative Food and Environmental Studies Pioneered by Entomomimetic Sciences	180	芝蘭会館
平成20年11月10日 ～11月12日	(第3回) Construction of the Novel Model of Pest Management Based on Biological Inter- actions	259	芝蘭会館

・シンポジウム等

開催日	テーマ等	参加者	開催場所
平成17年7月2日	第1回COE昆虫科学講演会 「虫の見る目、虫を見る目」	75	農学研究科
平成18年6月24日	共催シンポジウム なぜ“自然を知ること”が大切なのか？ ー子ども達への環境教育が拓く奄美の未来ー	260	龍郷町 りゅうゆう館
平成19年10月31日 ～11月1日	国内シンポジウム 生物間相互に基づく新規害虫管理モデルの構築	88	芝蘭会館
平成19年7月5日	共催シンポジウム 旅するチョウ、アサギマダラから見た奄美 ー「自然から学ぶ」ことの面白さ、大切さ、再発見ー	250	龍郷町 りゅうゆう館
平成19年9月1日	共催シンポジウム 昆虫COEフィールド教育プログラム・ 2007年度上賀茂試験地夏の一般公開自然観察会	45	フィールド科学教育センター 里域ステーション 上賀茂試験地
平成20年3月15日	共催シンポジウム 時計台対話集会 「むしに教わる森林海連環学」	400	京都大学時計台記念館 百周年ホール
平成21年3月8日	共催シンポジウム 奄美から未来を考える ー「持続的な発展に向けて」ー	200	龍郷町 りゅうゆう館